

議員提出議案第9号

岡山大学医学部附属病院三朝分院の存続に関する決議
このことについて、下記のとおり決議を求める。

平成11年12月21日

提出者	三朝町議会議員	藤井佳夫
賛成者	三朝町議会議員	山田道治
賛成者	三朝町議会議員	岩井澄雄
賛成者	三朝町議会議員	御船征夫
賛成者	三朝町議会議員	小椋昭一
賛成者	三朝町議会議員	香川和久
賛成者	三朝町議会議員	牧田武文

平成11年12月21日原案可決

三朝町議会議長 藤井 享

岡山大学医学部附属病院三朝分院の存続に関する決議

総務庁が5月18日発表した国立大学医学部附属病院に関する行政監察結果による文部省への勧告に、分院の廃止が盛り込まれたことは、岡山大学三朝分院のある本町にとって大きな衝撃であり、住民の間に不安が広がっている。

保健・医療・福祉の連携がより重要な時代を迎えた今日、住民の健康と福祉の増進を図るために、三朝分院は欠くことのできない現行施設である。

昭和14年の開設以来、医学的な研究による独自の治療法を確立してきた三朝分院は、重大な疾患を持つ方々の頼りとするところであり、地域住民のみならず全国各地からの来院者があることに、その信頼の高さがうかがえ、三朝温泉のラジウム泉がもたらす効能の特殊性は、医療領域へのさらなる利用拡大の可能性をもっている。

三朝分院が引き続き地域の医療機関としての機能を持った研究施設として存続できるよう全力を傾注する。

以上、決議する。

平成11年12月21日

鳥取県三朝町議会